

1-1 児童・生徒アンケート、保護者アンケート

厚木市の児童・生徒及びその保護者の部活動や習い事に係る意識や実態、部活動の地域展開に対する考え等を把握するため、次のとおり、スポーツ・文化芸術活動に関するアンケート調査を実施しました。

〈アンケート調査の概要〉

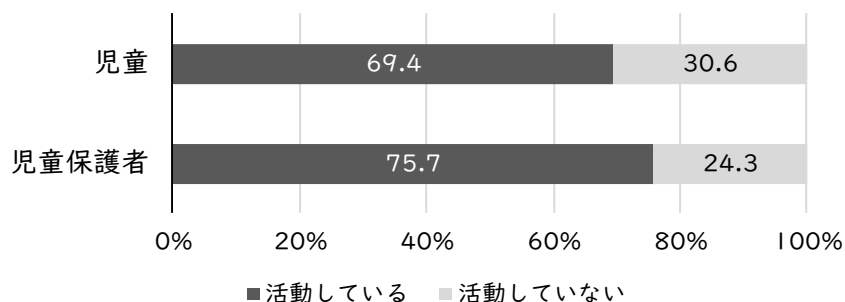
	児童及び児童保護者	生徒及び生徒保護者
回答方法	e-kanagawa 電子申請	
調査対象	(1) 児童 (小学5～6年) (2) 保護者 (小学5～6年)	(1) 生徒 (中学1～3年) (2) 保護者 (中学1～3年)
有効回答数	(1) 1,509件 (回答率：約43%) 小学5年：828人 小学6年：681人 (2) 1,097人 (回答率：約31%)	(1) 4,325件 (回答率：約81%) 中学1年：1,508人 中学2年：1,404人 中学3年：1,413人 (2) 981人 (回答率：約18%)
調査期間	(1)(2) 令和7(2025)年 10～11月	(1) 令和7(2025)年 8～9月 (2) 令和7(2025)年 10～11月
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のスポーツ・文化芸術に関わる習い事について ・中学入学後のスポーツや文化芸術に関わる活動について ・部活動の地域展開について 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7(2025)年6月1日時点における、スポーツや文化芸術に関わる活動について ・部活動の地域展開について

1-2 アンケート調査の結果

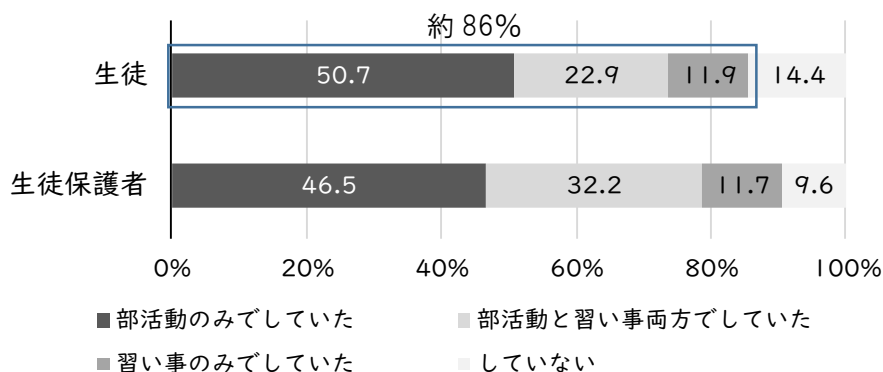
(1) スポーツ・文化芸術に関する活動【児童・生徒】

スポーツ・文化芸術活動を行っているという回答した児童・生徒は、保護者回答と多少の差はあるものの、児童は約 70%、生徒は約 86%でした。これらの結果から、多くの児童・生徒は、部活動や習い事を通して、スポーツ・文化芸術に触れる機会を有していることが分かります。

(児童及び児童保護者)



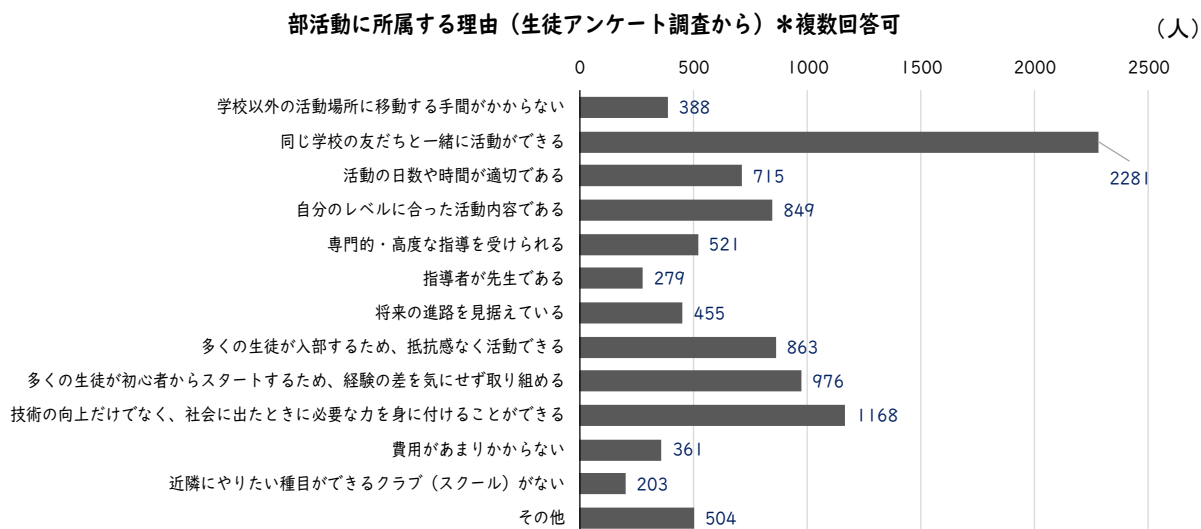
(生徒及び生徒保護者)



また、スポーツ・文化芸術活動をしている約 86% (3,701 人) の生徒のうち、習い事に所属していない生徒は約 59% (2,193 人) いることから、スポーツ・文化芸術活動に触れる機会は、多くの生徒にとって現状では学校に限られていると考えられます。そのような意味でも、部活動は生徒にとって重要な意義を持つものであるといえます。

(2) 部活動に所属する理由【生徒】

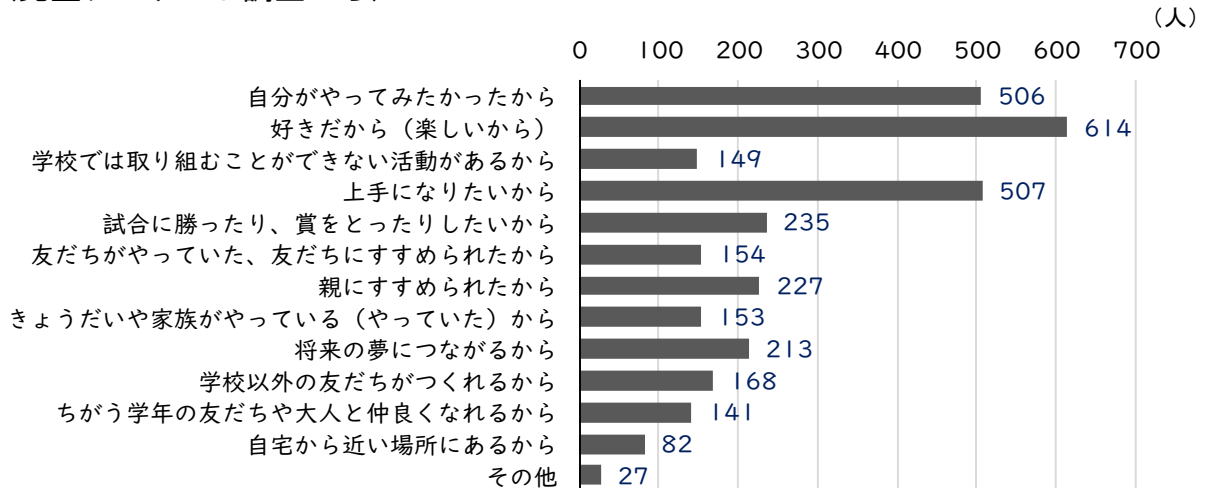
生徒は、「同じ学校の友だちと一緒に活動ができる」が最も多く、次いで、「技術の向上だけでなく、社会に出たときに必要な力を身に付ける」「多くの生徒が初心者からスタートするため、経験の差を気にせず取り組める」「多くの生徒が入部するため、抵抗感なく活動できる」となっています。部活動は特別な準備や負担を意識せずに、気軽に参加できる環境を提供しており、生徒がスポーツや文化芸術活動に親しむ入口として重要な役割を果たしていることが分かります。



(3) 習い事をしている理由【児童・生徒】

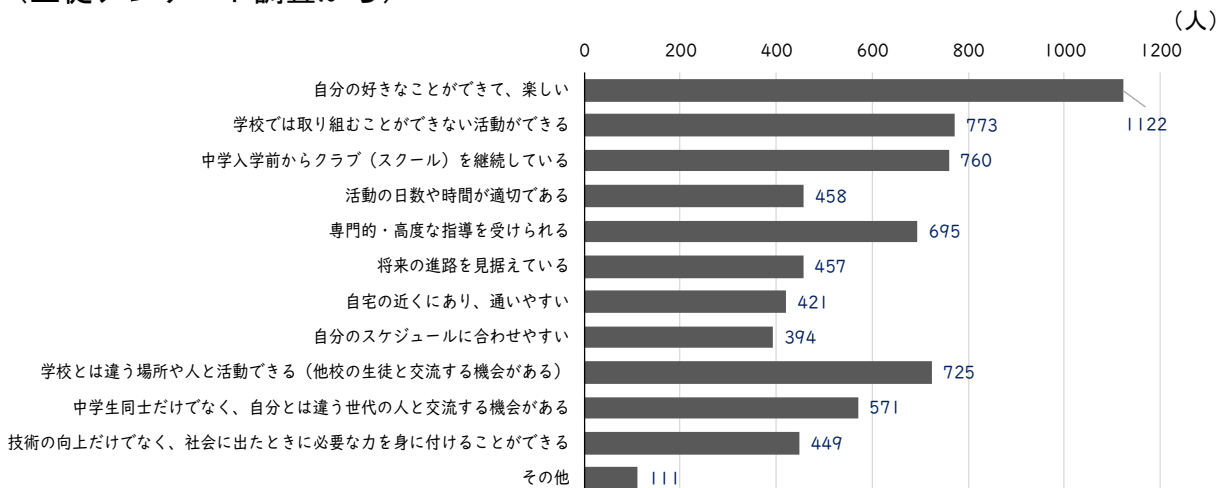
児童は、「好きだから（楽しいから）」が最も多く、次いで、「上手になりたいから」「自分がやってみたかったから」となっています。

(児童アンケート調査から)



一方、生徒は、「自分の好きなことができている」「学校では取り組むことができない活動ができる」「中学入学前からクラブ（スクール）を継続している」「学校とは違う場所や人と活動できる（他校の生徒と交流する機会がある）」「専門的・高度な指導を受けられる」となっています。

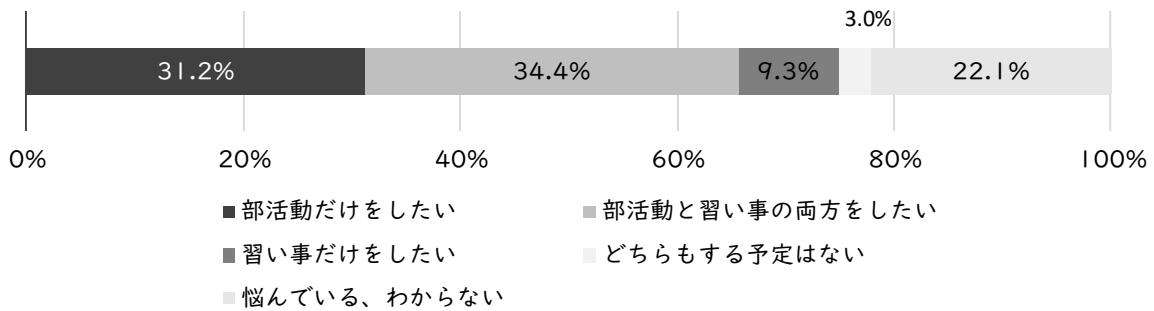
(生徒アンケート調査から)



(4) 中学入学後の活動【児童】

「悩んでいる、わからない」という児童が約 22%はいたものの、約 66%の児童は、部活動に所属したいと考えており、部活動への入部希望が多いことが分かります。

(児童アンケート調査から)

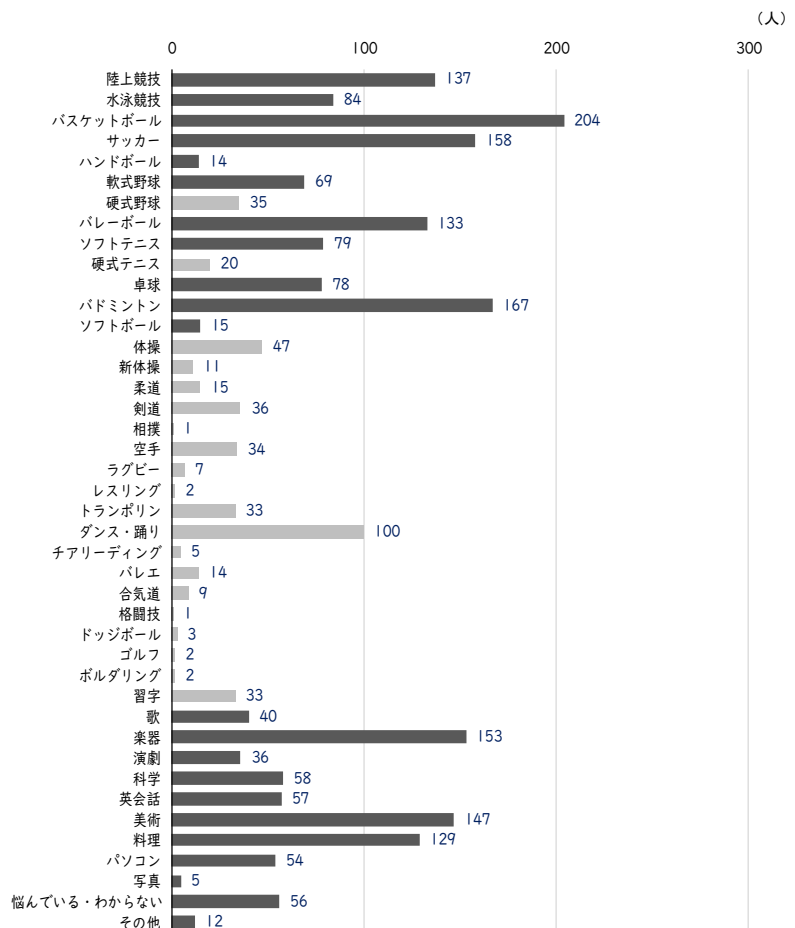


取り組んでみたい活動について、上位3項目はバスケットボール（約 18%）、バドミントン（約 15%）、サッカー（約 14%）でした。

また、部活動にはないダンスも上位に挙がっていました。

なお、自由記述では、パルクールやインラインスケート、フェンシングなどの記述があり、ニーズが多様化していることが分かります。

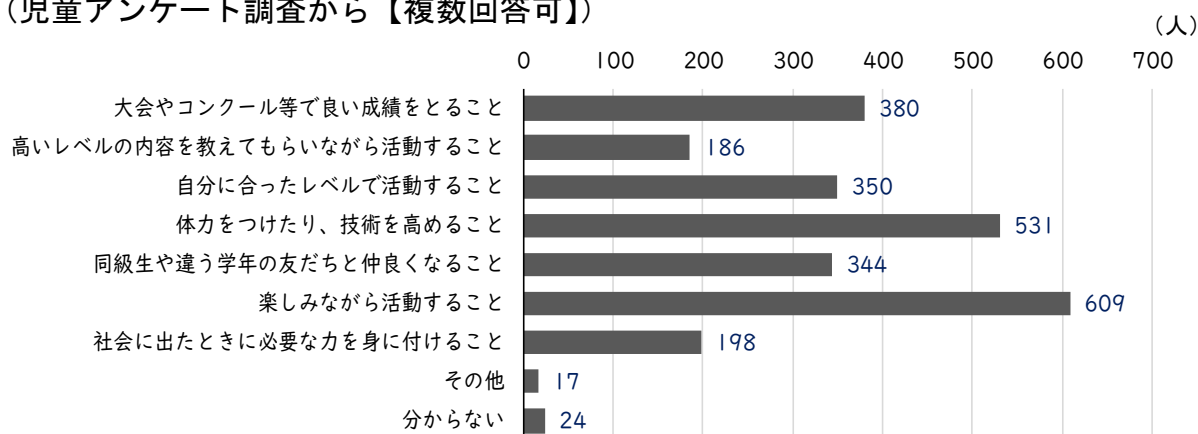
〈取り組んでみたいスポーツ・文化芸術に関する活動【最大3つまで回答】〉



(5) 部活動で目標にしたいこと、習い事で目標にしたいこと【児童】

児童は、部活動で目標としたいことについて、「楽しみながら活動すること」が最も多く、次いで「体力をつけたり、技術を高めること」「大会やコンクール等で良い成績をとること」「自分に合ったレベルで活動すること」となっています。競技志向を求める児童がいる一方で、エンジョイ志向の回答が最も高い結果となりました。

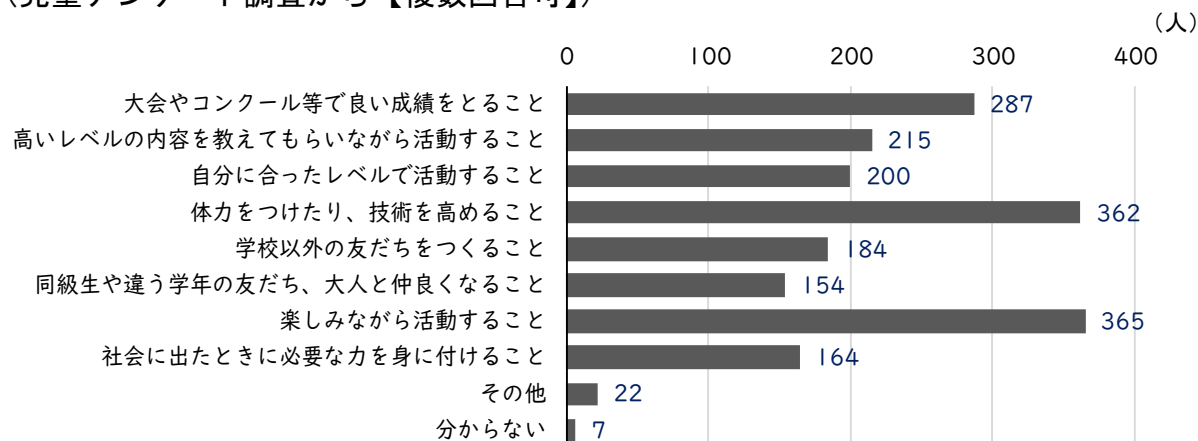
(児童アンケート調査から【複数回答可】)



一方、習い事で目標としたいことについて、「楽しみながら活動すること」が最も多く、次いで、「体力をつけたり、技術を高めること」「大会やコンクール等で良い成績をとること」となっており、部活動と同様の傾向がみられました。

また、部活動と比べると、「高いレベルの内容を教えてもらいながら活動すること」が約33%と高いことが分かりました（部活動は約19%）。部活動と習い事は、自らやりたいことを選んで取り組む点や、多様な担い手がこどもの成長を支える点では共通していますが、習い事は、特定のスキルや専門的な技術の習得を目標として取り組んでいることが分かりました。

(児童アンケート調査から【複数回答可】)

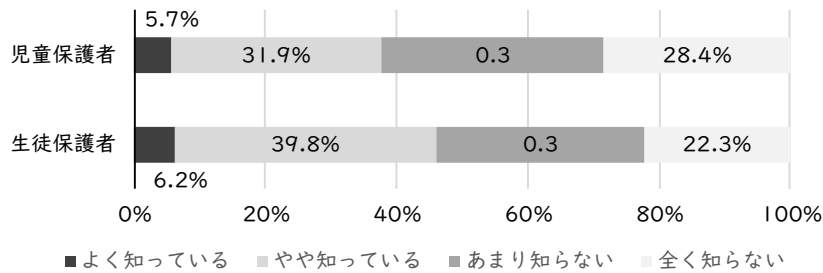


(6) 地域展開に関すること【保護者】

ア 保護者の認知度

「よく知っている」「やや知っている」と回答した割合は、児童保護者は約38%、生徒保護者は約46%にとどまっており、いずれも半数以下であることが分かりました。

(保護者アンケート調査から)

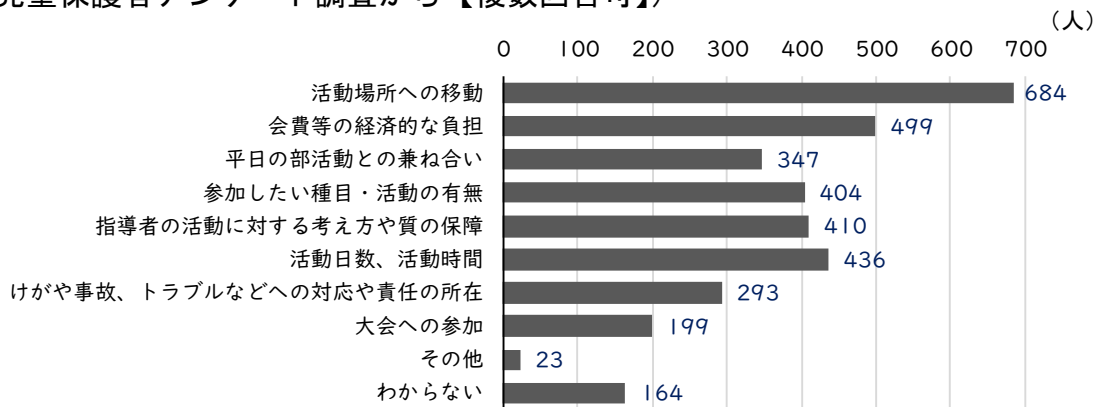


イ 不安なこと

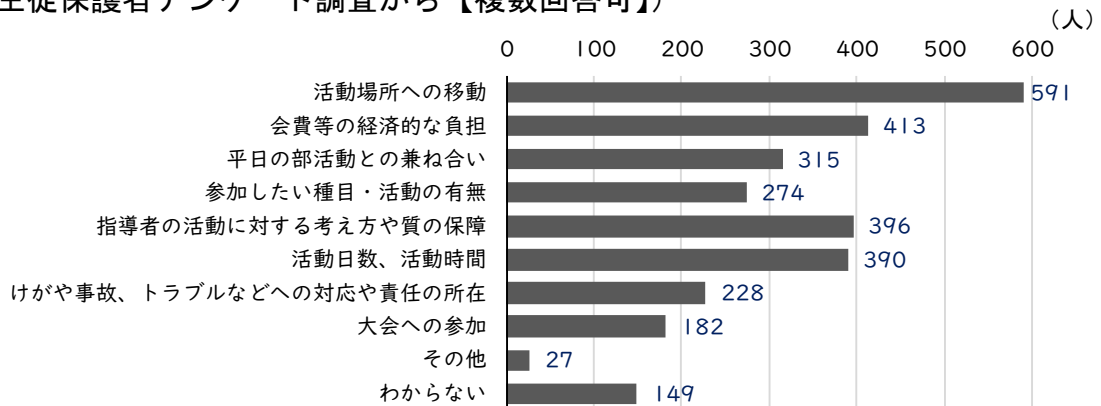
いずれの保護者も、「活動場所への移動」が最も多く、次いで「会費などの経済的負担」でした。

また、「指導者の活動に対する考え方や指導の質の保障」や「活動日数、活動時間」について不安を感じる保護者が多くいることが分かりました。

(児童保護者アンケート調査から【複数回答可】)



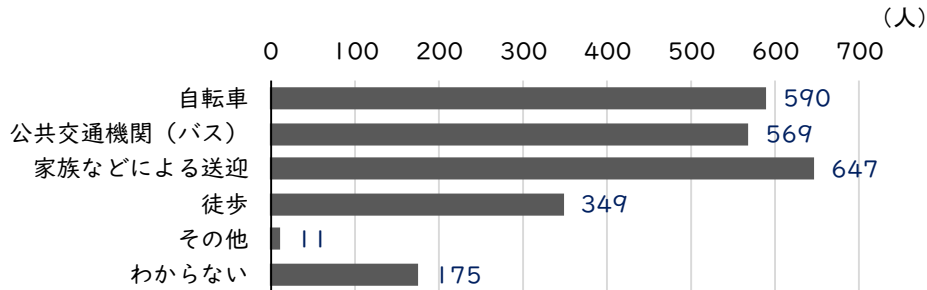
(生徒保護者アンケート調査から【複数回答可】)



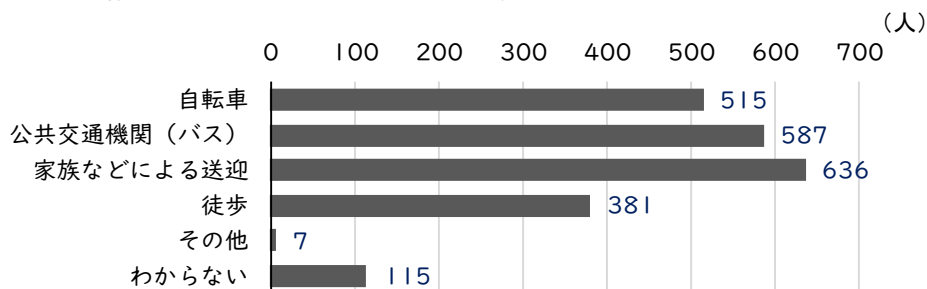
ウ 活動場所への移動手段（休日の昼間に活動する、かつ、活動場所が学校よりも遠方になると仮定した場合）

いずれの保護者も、「保護者による送迎」が最も多くなりました。児童保護者は、次いで「自転車」、「公共交通機関」の順となっています。一方、生徒保護者は、「公共交通機関」、「自転車」の順で続いており、類似した傾向となりました。

（児童保護者アンケート調査から【複数回答可】）



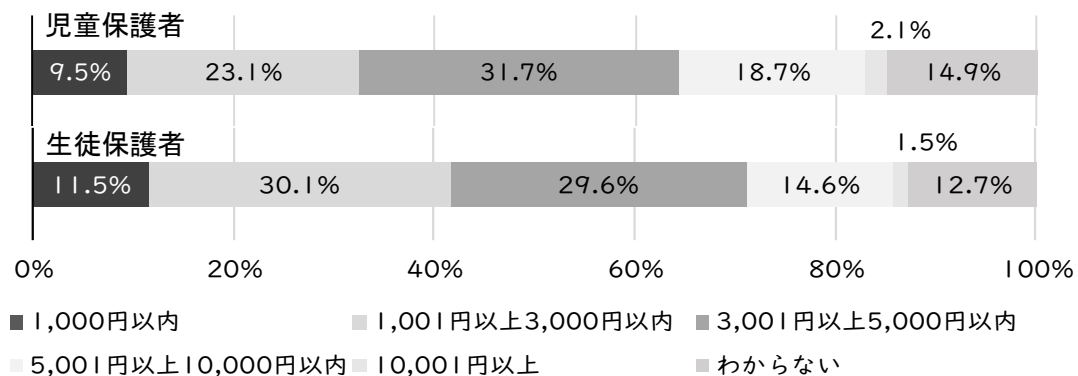
（生徒保護者アンケート調査から【複数回答可】）



エ 毎月の会費（月に4回程度、1回3時間程度と仮定した場合）

児童保護者は「3,001円以上5,000円以内」、生徒保護者は「1,001円以上3,000円以内」が最も多くなりました。また、5,000円以内と回答した割合は、児童保護者で約64%、生徒保護者で約71%という結果でした。

（児童保護者・生徒保護者アンケート調査から）



2-1 教職員アンケート

生徒の活動の場を、学校の部活動から地域でのクラブ活動として位置付ける「地域移行」に関して、兼職兼業の許可を得て、地域クラブ活動での指導を希望する教員の状況を把握するため、次のとおりアンケート調査を実施しました。

〈アンケート調査の概要〉

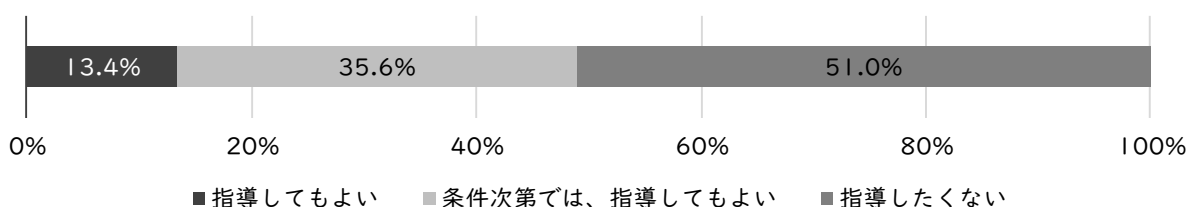
回答方法	google フォーム
調査対象	管理職、教員（再任用、臨時的任用、非常勤講師含む）
有効回答数	396 人（回収率：約 95%）
調査期間	令和 6（2024）年 9 月
主な調査項目	・ 休日の地域クラブ活動における兼職兼業での指導希望の有無 ・ 指導を引き受けられない条件について

2-2 アンケート調査の結果

(1) 休日の部活動が地域クラブ活動に移行した場合に、兼職兼業の形で指導すること

「指導したくない」が最も多くなりました。「指導してもよい」「条件次第では、指導してもよい」と回答した割合は、49%でした。

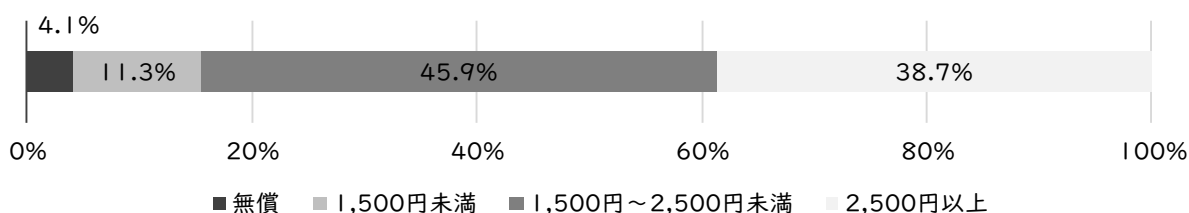
〈休日の地域クラブ活動における兼職兼業での指導希望の有無〉



(2) 兼職兼業の形で指導する場合の 1 時間当たりの希望報酬額

※(1)で、指導してもよい・条件次第では指導してもよいと回答した 194 人を対象
「1,500 円～2,500 円未満」が最も多くなりました。

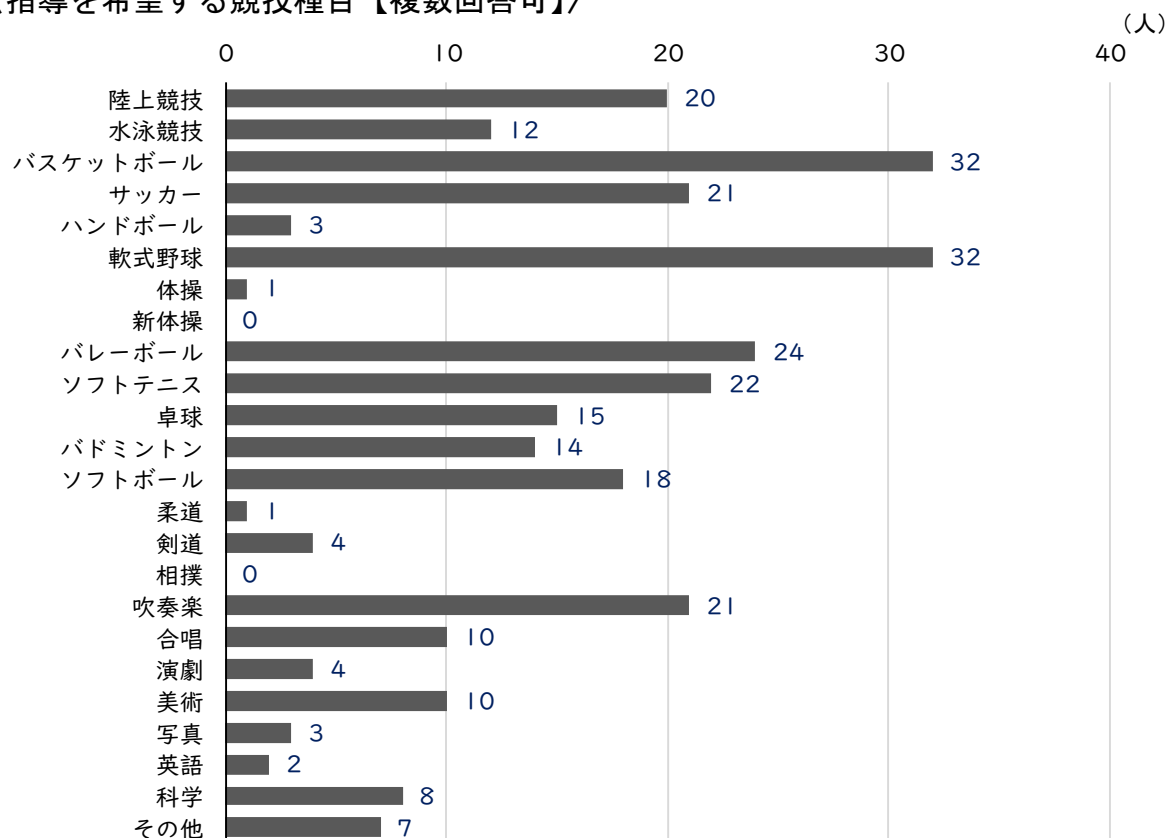
〈1 時間当たりの希望報酬額〉



(3) 指導を希望する競技種目

※(1)で、指導してもよい・条件次第では指導してもよいと回答した194人を対象
「バスケットボール」と「軟式野球」が最も多く、次いで「バレーボール」「ソフトテニス」となりました。文化部では、「吹奏楽」が最も多くなりました。

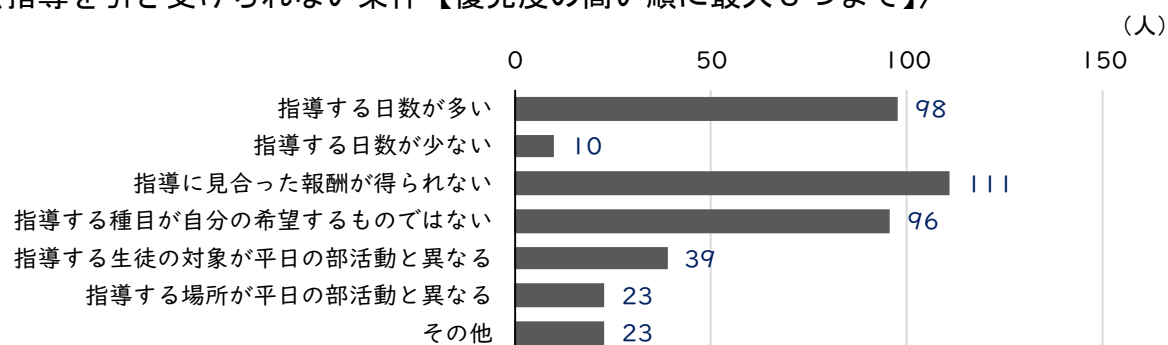
〈指導を希望する競技種目【複数回答可】〉



(4) 指導を引き受けられない条件

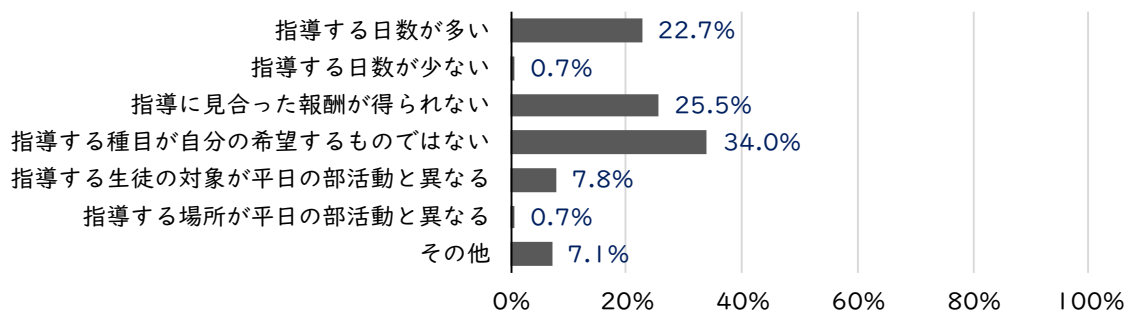
※(1)で、条件次第では、指導してもよいと回答した141人を対象
「指導に見合った報酬が得られない」が最も多く、次いで、「指導する日数が多い」、「指導する種目が自分の希望するものではない」となっています。

〈指導を引き受けられない条件【優先度の高い順に最大3つまで】〉

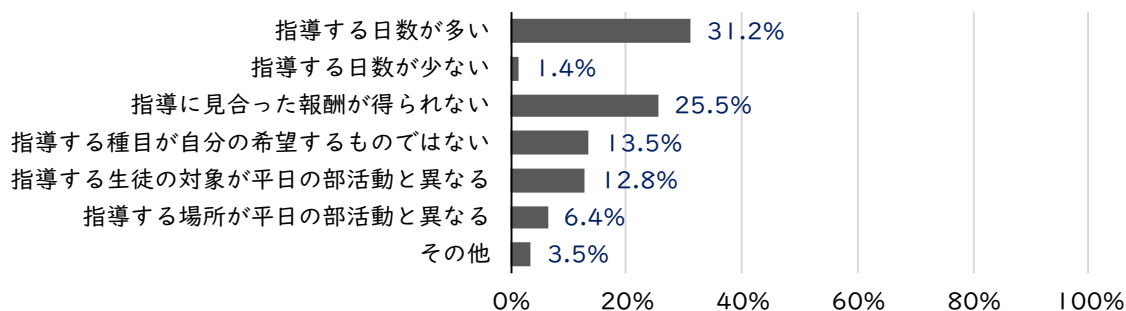


なお、優先度の高い項目に着目すると、「指導する種目が自分の希望するものではない」が最も多く、次いで「指導する日数が多い」「指導に見合った報酬が得られない」というものでした。

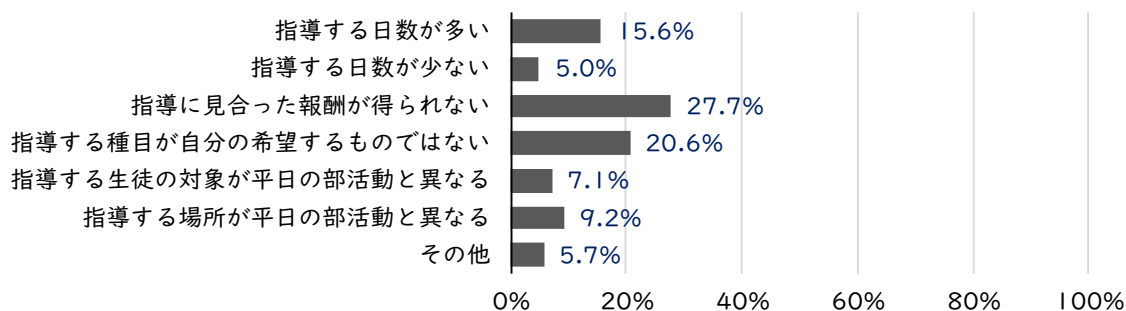
〈引き受けられない条件として、最も優先したいこと〉



〈引き受けられない条件として、2番目に優先したいもの〉



〈引き受けられない条件として、3番目に優先したいもの〉



〈その他（自由記述）〉

- ・責任の所在が不明確である。
- ・保護者から指導者報酬をもらう。
- ・大会運営に関わる。

3 児童・生徒アンケート、保護者アンケート及び教職員アンケート調査のまとめ

児童	<ul style="list-style-type: none"> ・約70%の児童がスポーツ・文化芸術に関する習い事を行っており、習い事の内容も多様。 ・中学入学後の活動について、約66%の児童は部活動に所属したいと考えている。部活動で目標にしたいことは、「楽しみながら活動すること」が最多。 ・既存の部活動にない活動(ダンス・踊り、体操、剣道等)のニーズも有り。
生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・文化芸術活動をしている生徒のうち、約59%は習い事に所属せず、部活動のみに所属。 ・部活動に所属する理由の上位3項目は、「興味・関心」「学校内でのつながり」「成長へ期待」等。一方、習い事に所属する理由の上位3項目は、「興味・関心」「学校では得られない経験」「継続性」。 ・希望する部活動の活動日数は平日4日、休日1日。 ・特に活動していない理由は、「やりたいことがない」が最多。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に期待することの上位2項目は、児童保護者は「学校内でのつながり」「体力や技術の向上」、生徒保護者は「学校内でのつながり」「スポーツ・文化の享受」。 ・習い事に期待することは、児童・生徒の保護者とも「体力や技術の向上」が最多。 ・部活動をする上での課題や負担の上位2項目は、「選択肢の少なさ」「活動場所への送迎」。 ・習い事をする上での課題や負担の上位2項目は、児童・生徒の保護者とも「活動場所への送迎」「経済的な負担」。 ・地域展開に対する認知度は、児童保護者38%、生徒保護者46%。 ・地域展開による不安なことの上位2項目は、児童・生徒の保護者とも「活動場所への移動」「会費等の経済的な負担」。「指導者の質」や「活動日数、活動時間」についての回答も多い。 ・活動場所への移動手段は、児童・生徒の保護者とも「保護者による送迎」が最多。 ・毎月の会費は、児童・生徒の保護者とも「3,001円以上5,000円以内」が最多。
教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分が指導したいと思える活動に」「相応の報酬をもらい」「活動日数も負担過多にならない程度(現行同等)」ならば、指導してもよいと考える教員が49%いる(兼職兼業の形での指導を望まない教員は51%いる)。 ・1時間当たりの希望報酬額は、「1,500円～2,500円未満」が最多。

4 アンケート調査の質問と回答結果

[注意事項]

- ・回答結果（百分率）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、合計が100%にならないことがあります（複数回答を除く）。
- ・複数回答が可能な質問の回答結果（百分率）は、該当質問に対する全回答数を母数として算出しています。

(1) 児童アンケート

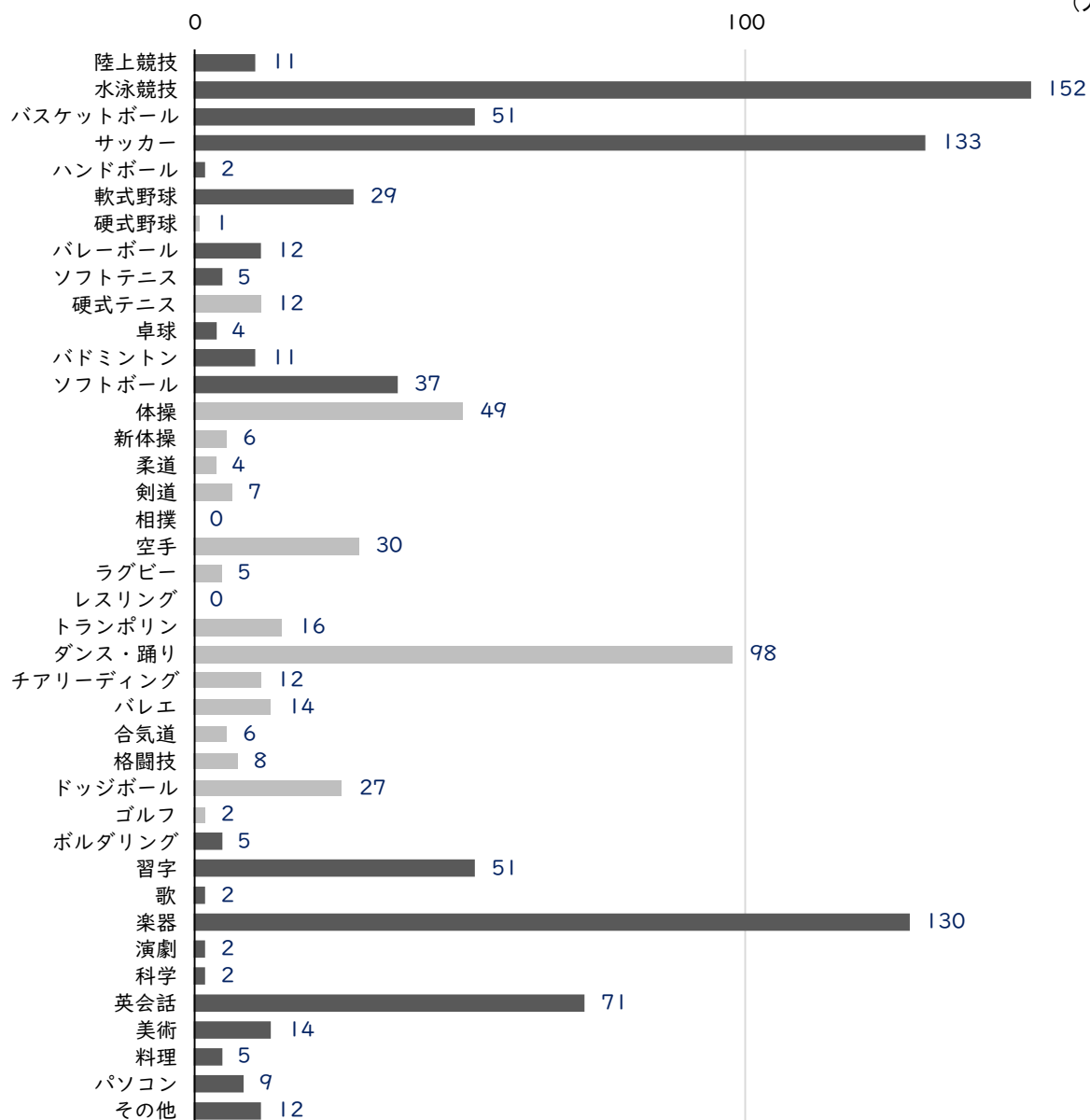
1	あなたは今、スポーツ・文化芸術に関する習い事をしていますか。※学習塾や家庭教師、通信教育は除く。	習い事をしている	1,047人 (69.4%)
		習い事をしていない	462人 (30.6%)
2	あなたが今、取り組んでいるスポーツ・文化芸術に関する習い事を教えてください。いくつかある場合は、一番力を入れているものを選んでください。	16 ページ参照	
3	1において、「 <u>習い事をしている</u> 」と回答した1,047人を対象あなたが習い事をしている理由について、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)	自分がやってみたかったから	506人 (48.3%)
		好きだから(楽しいから)	614人 (58.6%)
		学校では取り組むことができない活動ができるから	149人 (14.2%)
		上手になりたいから	507人 (48.4%)
		試合に勝ったり、賞をとったりしたいから	235人 (22.4%)
		友だちがやっていた、友だちにすすめられたから	154人 (14.7%)
		親にすすめられたから	227人 (21.7%)
		きょうだいや家族がやっている(やっていた)から	153人 (14.6%)
		将来の夢につながるから	213人 (20.3%)
		学校以外の友だちがつくれるから	168人 (16.0%)
		ちがう学年の友だちや大人と仲良くなれるから	141人 (13.5%)
		自宅から近い場所にあるから	82人 (7.8%)
		その他	27人 (2.6%)

4	あなたは、中学生になったらスポーツ・文化芸術に関する部活動や習い事をしたいですか。	部活動だけをしたい	471 人 (31.2%)
		部活動と習い事の両方をしたい	519 人 (34.4%)
		習い事だけをしたい	140 人 (9.3%)
		どちらもする予定はない	45 人 (3.0%)
		悩んでいる、わからない	334 人 (22.1%)
5	<p><u>4において、「部活動だけをしたい」、「部活動と習い事の両方をしたい」、「習い事だけをしたい」と回答した1,130人を対象</u></p> <p>あなたが取り組んでみたいスポーツ・文化芸術に関する活動は何ですか。小学校でやっているものを選んで良いです。(最大3つまで)</p>	5 ページ参照	
6	<p><u>4において、「部活動だけをしたい」、「部活動と習い事の両方をしたい」と回答した990人を対象</u></p> <p>あなたが部活動で目標にしたいことについて、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)</p>	大会やコンクール等で良い成績をとること	380 人 (38.4%)
		高いレベルの内容を教えてもらいながら活動すること	186 人 (18.8%)
		自分に合ったレベルで活動すること	350 人 (35.4%)
		体力をつけたり、技術を高めること	531 人 (53.6%)
		同級生や違う学年の友だちと仲良くなること	344 人 (34.7%)
		楽しみながら活動すること	609 人 (61.5%)
		社会に出たときに必要な力を身に付けること	198 人 (20.0%)
		その他	17 人 (1.7%)
		わからない	24 人 (2.4%)

7	<u>4において、「習い事だけをした い」、「部活動と習い事の両方を したい」と回答した 659 人を対 象</u> あなたが習い事で目標にしたい ことについて、あてはまるもの をすべて選んでください。	大会やコンクール等で良い成績を とること	287 人 (43.6%)
		高いレベルの内容を教えてもらい ながら活動すること	215 人 (32.6%)
		自分に合ったレベルで活動するこ と	200 人 (30.3%)
		体力をつけたり、技術を高めること	362 人 (54.9%)
		学校以外の友だちをつくること	184 人 (27.9%)
		同級生や違う学年の友だち、大人と 仲良くなること	154 人 (23.4%)
		楽しみながら活動すること	365 人 (55.4%)
		社会に出たときに必要な力を身に 付けること	164 人 (24.9%)
		その他	22 人 (3.3%)
		わからない	7 人 (1.1%)
8	<u>4において、「どちらもする予定 はない」と回答した 45 人を対象</u> あなたが部活動や習い事をしな い理由を教えてください。	勉強など、他に取り組んでいる（取 り組みたい）ことがあるから	9 人 (20.0%)
		やりたい種目の部活動や習い事が 通学する予定の学校または自宅の 近くにないから	5 人 (11.1%)
		やりたいことがないから	23 人 (51.1%)
		その他	8 人 (17.8%)

設問2の回答 今、取り組んでいるスポーツ・文化芸術に関する習い事

(人)



(2) 児童保護者アンケート

1	お子様は今、スポーツ・文化芸術に関する習い事をしていますか。※学習塾や家庭教師、通信教育は除く。	習い事をしている	830人 (75.7%)
		習い事をしていない	267人 (24.3%)
2	1において、「習い事をしている」と回答した830人を対象 お子様が習い事をする上での課題や保護者様が負担に感じていることについて、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)	選択肢が少ない(自宅の近くにない)	212人 (25.5%)
		人数が多い	19人 (2.3%)
		人数が少ない	58人 (7.0%)
		活動日数、活動時間が多い	52人 (6.3%)
		活動日数、活動時間が少ない	44人 (5.3%)
		指導者の活動に対する考え方	71人 (8.6%)
		けがやトラブルへの対応	29人 (3.5%)
		学業との両立の難しさ	140人 (16.9%)
		活動場所への送迎	468人 (55.4%)
		送迎を除く大会運営の支援やサポート、お手伝い	139人 (16.7%)
		月謝などの経済的な負担	373人 (44.9%)
		特になし	135人 (16.3%)
その他	17人 (2.0%)		
3	1において、「習い事をしている」と回答した830人を対象 毎月の習い事の月謝(会費等)はどのくらいですか(複数ある場合は、おおよその平均値)。	1,000円以内	15人 (1.8%)
		1,001円以上3,000円以内	63人 (7.6%)
		3,001円以上5,000円以内	99人 (11.9%)
		5,001円以上10,000円以内	355人 (42.8%)
		10,001円以上	298人 (35.9%)

4	お子様の中学入学後のスポーツ・文化芸術に関する部活動や習い事などへの参加について、現時点でどのように考えていますか。	部活動のみに参加する予定	291人 (26.5%)
		部活動、習い事の両方に参加する予定	330人 (30.1%)
		習い事のみに参加する予定(部活動には参加しない)	74人 (6.7%)
		どちらにも参加する予定はない	13人 (1.2%)
		まだ決めていない、わからない	389人 (35.5%)
5	4において、「部活動のみに参加する予定」、「部活動、習い事の両方に参加する予定」と回答した621人を対象 部活動に期待することについて、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)	大会やコンクール等で良い成績をとること	82人 (13.2%)
		専門的・高度な指導を受けて活動すること	101人 (16.3%)
		体力や技術を向上させること	420人 (67.6%)
		友人関係を広げること	491人 (79.1%)
		学校生活に豊かさをもたらすこと	461人 (74.2%)
		スポーツや文化に親しみ、楽しむこと	411人 (66.2%)
		社会に出たときに必要な力を身に付けること	289人 (46.5%)
		こども本人に合った活動ができること	327人 (52.7%)
		その他	8人 (1.3%)
		わからない	2人 (0.3%)
6	4において、「習い事のみに参加する予定」、「部活動、習い事の両方に参加する予定」と回答した404人を対象 習い事に期待することについて、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)	大会やコンクール等で良い成績をとること	80人 (19.8%)
		専門的・高度な指導を受けて活動すること	216人 (53.5%)
		体力や技術を向上させること	252人 (62.4%)
		他校の友だちを含めて、友人関係を広げること	198人 (49.0%)
		中学生同士だけでなく、自分とは違う世代の人と交流すること	163人 (40.3%)

		スポーツや文化に親しみ、楽しむこと	211人 (52.2%)
		社会に出たときに必要な力を身に付けること	191人 (47.3%)
		こども本人に合った活動ができること	227人 (56.2%)
		その他	10人 (2.5%)
		わからない	4人 (1.0%)
7	文部科学省は、「休日の中学校の部活動を段階的に地域クラブ活動に展開（移行）する」ことを示していますが、そのことをご存知ですか。	よく知っている	63人 (5.7%)
		やや知っている	350人 (31.9%)
		あまり知らない	373人 (34.0%)
		全く知らない	311人 (28.4%)
8	休日の部活動が、学校ではなく地域で行う地域クラブ活動に変わる上で不安なことについて、あてはまるものをすべて選んでください。	活動場所への移動	684人 (62.4%)
		会費等の経済的な負担	499人 (45.5%)
		平日の部活動との兼ね合い	347人 (31.6%)
		参加したい種目・活動の有無	404人 (36.8%)
		指導者の活動に対する考え方や質の保障	410人 (37.4%)
		活動日数、活動時間	436人 (39.7%)
		けがや事故、トラブルなどへの対応や責任の所在	293人 (26.7%)
		大会への参加	199人 (18.1%)
		その他	23人 (2.1%)
		わからない	164人 (14.9%)

9	活動場所が在籍する学校と別になることも考えられます。お子様が休日の昼間に地域クラブで活動するとして、活動場所が学校よりも遠い場所になる場合、どのように通わせるかについて、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)	自転車	590人 (53.8%)
		公共交通機関(バス)	569人 (51.9%)
		家族などによる送迎	647人 (59.0%)
		徒歩	349人 (31.8%)
		その他	11人 (1.0%)
		わからない	175人 (16.0%)
10	お子様が休日に地域クラブで活動する場合(月に4回程度、1回3時間程度)、毎月の会費等の費用として妥当な金額はどのくらいと考えますか。	1,000円以内	104人 (9.5%)
		1,001円以上3,000円以内	253人 (23.1%)
		3,001円以上5,000円以内	348人 (31.7%)
		5,001円以上10,000円以内	205人 (18.7%)
		10,001円以上	23人 (2.1%)
		わからない	164人 (14.9%)

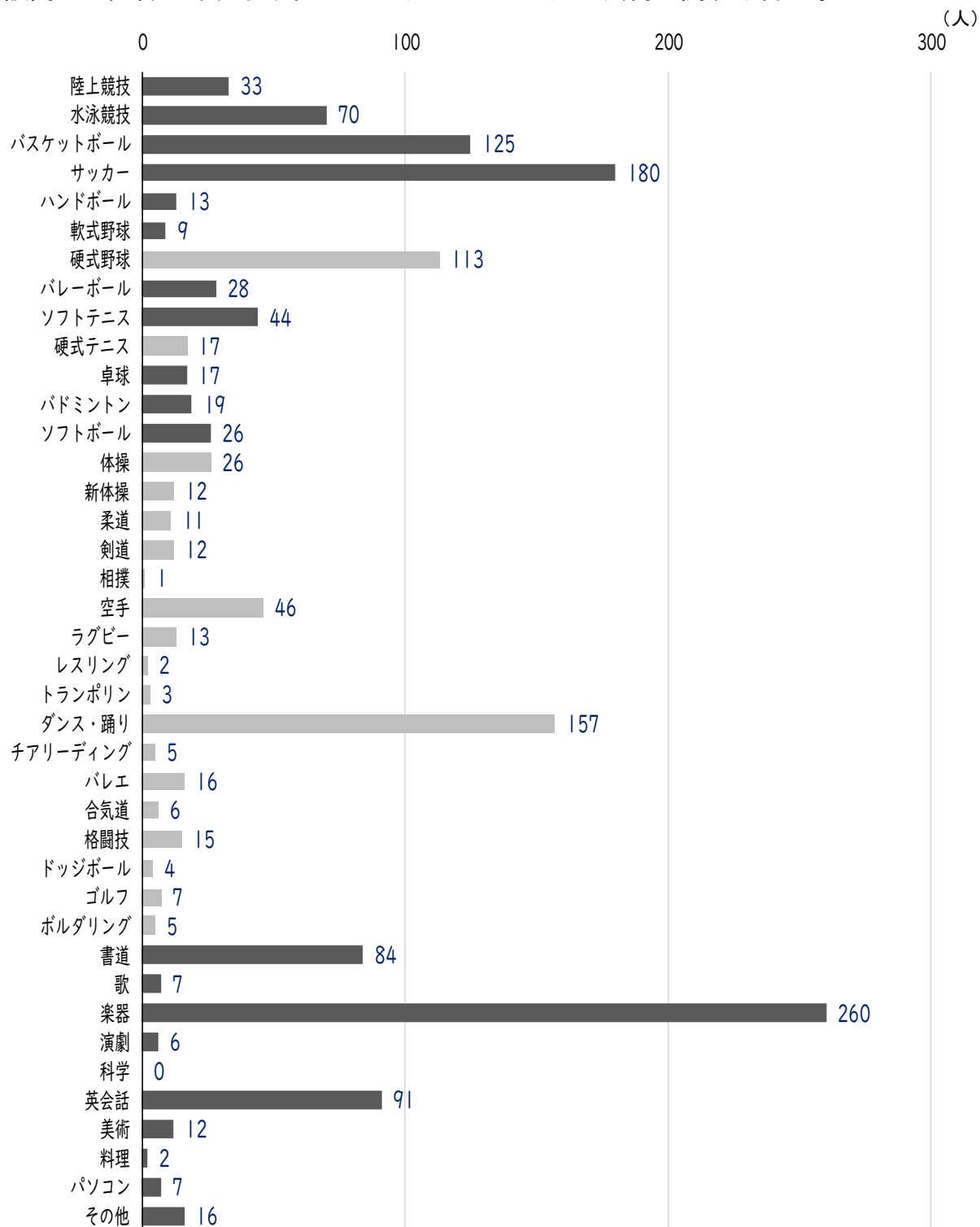
(3) 生徒アンケート

1	令和7(2025)年6月1日時点において、スポーツ・文化芸術に関わる活動をしていますか。 ※学習塾や家庭教師、通信教育は除く。	部活動のみで活動している	2,193人 (50.7%)
		部活動と学校外のクラブ(スクール)両方で活動している	992人 (22.9%)
		学校外のクラブ(スクール)のみで活動している	516人 (11.9%)
		活動していない	624人 (14.4%)
2	<u>1において、「部活動のみで活動している」、「部活動と学校外のクラブ(スクール)両方で活動している」と回答した3,185人を対象</u> 希望する部活動に所属していますか。	希望通りの部活動に所属している	2,913人 (91.5%)
		希望していた部活動が学校になかったため、希望以外の部活動に所属している	272人 (8.5%)
3	<u>1において、「部活動のみで活動している」、「部活動と学校外のクラブ(スクール)両方で活動している」と回答した3,185人を対象</u> 部活動に所属する理由についてあてはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)	学校以外の活動場所に移動する手間がかからない	388人 (12.2%)
		同じ学校の友だちと一緒に活動ができる	2,281人 (71.6%)
		活動の日数や時間が適切である	715 (22.4%)
		自分のレベルに合った活動内容である	849人 (26.7%)
		専門的・高度な指導を受けられる	521人 (16.4%)
		指導者が先生である	279人 (8.8%)
		将来の進路を見据えている	455人 (14.3%)
		多くの生徒が入部するため、抵抗感なく活動できる	863人 (27.1%)
		多くの生徒が初心者からスタートするため、経験の差を気にせず取り組める	976人 (30.6%)
		技術の向上だけでなく、社会に出たときに必要な力を身に付けることができる	1,168人 (36.7%)
		費用があまりかからない	361 (11.3%)
		近隣にやりたい種目ができるクラブ(スクール)がない	203人 (6.4%)
その他	504人 (15.8%)		

4	<u>1において、「部活動のみで活動している」、「部活動と学校外のクラブ（スクール）両方で活動している」と回答した 3,185 人を対象</u> 平日はどのくらい活動したいですか。	毎日	614 人 (19.3%)
		4日	1,416 人 (44.5%)
		3日	849 人 (26.7%)
		2日	190 人 (6.0%)
		1日	78 人 (2.4%)
		0日	38 人 (1.2%)
5	<u>1において、「部活動のみで活動している」、「部活動と学校外のクラブ（スクール）両方で活動している」と回答した 3,185 人を対象</u> 週末はどのくらい活動したいですか。	活動しない	819 人 (25.7%)
		土日どちらか活動する	2,078 人 (65.2%)
		土日両方とも活動する	288 人 (9.0%)
6	<u>1において、「部活動と学校外のクラブ（スクール）両方で活動している」「学校外のクラブ（スクール）のみで活動している」と回答した 1,508 人を対象</u> あなたはどのクラブ（スクール）に所属していますか。複数ある場合は、最も力を入れているものを1つ選び、回答してください。	24 ページ参照	
7	<u>1において、「部活動と学校外のクラブ（スクール）両方で活動している」「学校外のクラブ（スクール）のみで活動している」と回答した 1,508 人を対象</u> 学校外のクラブ（スクール）に所属する理由について、あてはまるものをすべて選んでください。（複数回答可）	自分の好きなことができ、楽しい	1,122 人 (74.4%)
		学校では取り組むことができない活動ができる	773 人 (51.3%)
		中学入学前からクラブ（スクール）を継続している	760 人 (50.4%)
		活動の日数や時間が適切である	458 人 (30.4%)

		専門的・高度な指導を受けられる	695 人 (46.1%)
		将来の進路を見据えている	457 人 (30.3%)
		自宅の近くにあり、通いやすい	421 人 (27.9%)
		自分のスケジュールに合わせやすい	394 人 (26.1%)
		学校とは違う場所や人と活動できる（他校の生徒と交流する機会がある）	725 人 (48.1%)
		中学生同士だけでなく、自分とは違う世代の人と交流する機会がある	571 人 (37.9%)
		技術の向上だけでなく、社会に出たときに必要な力を身に付けることができる	449 人 (29.8%)
		その他	111 人 (7.4%)
8	<u>1</u> において、「活動していない」と回答した 624 人を対象 活動していない理由を教えてください。	他に取り組んでいることがある	164 人 (26.3%)
		やりたい種目の部活動やクラブ（スクール）が通っている学校または近隣にない	29 人 (4.6%)
		やりたいことがない	308 人 (49.4%)
		その他	123 人 (19.7%)

設問6の回答 今、取り組んでいるスポーツ・文化芸術に関する習い事



(4) 生徒保護者アンケート

1	<p>お子様は、令和7(2025)年6月1日時点において、スポーツ・文化芸術に関する部活動や習い事をしていましたか。</p> <p>※学習塾や家庭教師、通信教育は除く。</p>	部活動のみでしていた	456人 (46.5%)
		部活動と習い事両方でしていた	316人 (32.2%)
		習い事のみでしていた(部活動には入っていない)	115人 (11.7%)
		していない	94人 (9.6%)
2	<p><u>1において、「部活動のみでしていた」「部活動と習い事両方でしていた」と回答した772人を対象</u></p> <p>お子様が部活動で活動する場合に目指してほしいことについて、あてはまるものをすべて選んでください。</p>	大会やコンクール等で良い成績をとること	187人 (24.2%)
		専門的・高度な指導を受けて活動すること	183人 (23.7%)
		体力や技術を向上させること	520人 (67.4%)
		友人関係を広げること	639人 (82.8%)
		学校生活に豊かさをもたらすこと	616人 (79.8%)
		スポーツや文化に親しみ、楽しむこと	535人 (69.3%)
		社会に出たときに必要な力を身に付けること	366人 (47.4%)
		こども本人に合った活動ができること	365人 (47.3%)
		その他	9人 (1.2%)
		わからない	1人 (0.1%)
3	<p><u>1において、「部活動のみでしていた」「部活動と習い事両方でしていた」と回答した772人を対象</u></p> <p>お子様が部活動をする上での課題や保護者様が負担に感じていることについて、あてはまるものをすべて選んでください。</p>	選択肢が少ない(やりたい種目が通学する学校にない)	214人 (27.7%)
		部員数が多い	25人 (3.2%)
		部員数が少ない	132人 (17.1%)
		活動日数、活動時間が多い	82人 (10.6%)
		活動日数、活動時間が少ない	146人 (18.9%)

		専門的な指導を受けることができない	175人 (22.7%)
		指導者の活動に対する考え方	120人 (15.5%)
		けがやトラブルへの対応	47人 (6.1%)
		学業との両立の難しさ	180人 (23.3%)
		活動場所への送迎	208人 (26.9%)
		送迎を除くサポートやお手伝い	25人 (3.2%)
		部費など活動費の経済的な負担	77人 (10.0%)
		特になし	134人 (17.4%)
		その他	28人 (3.6%)
4	<p><u>1</u>において、「<u>習い事のみでしていた</u>」「<u>部活動と習い事両方でしていた</u>」と回答した431人を対象</p> <p>お子様が習い事で活動する場合に目指してほしいことについて、あてはまるものをすべて選んでください。</p>	大会やコンクール等で良い成績をとること	104人 (24.1%)
		専門的・高度な指導を受けて活動すること	256人 (59.4%)
		体力や技術を向上させること	260人 (60.3%)
		他校の友だちを含めて、友人関係を広げること	207人 (48.0%)
		中学生同士だけでなく、自分とは違う世代の人と交流すること	195人 (45.2%)
		スポーツや文化に親しみ、楽しむこと	245人 (56.8%)
		社会に出たときに必要な力を身に付けること	211人 (49.0%)
		こども本人に合った活動ができること	261人 (60.6%)
		その他	11人 (2.6%)
		わからない	2人 (0.5%)

5	<p><u>1において、「習い事のみでしていた」「部活動と習い事両方でしていた」と回答した431人を対象</u></p> <p>お子様が習い事をする上での課題や保護者様が負担に感じていることについて、あてはまるものをすべて選んでください。</p>	選択肢が少ない（自宅の近くにな い）	69人 (16.0%)
		人数が多い	3人 (0.7%)
		人数が少ない	10人 (2.3%)
		活動日数、活動時間が多い	16人 (3.7%)
		活動日数、活動時間が少ない	26人 (6.0%)
		指導者の活動に対する考え方	37人 (8.6%)
		けがやトラブルへの対応	28人 (6.5%)
		学業との両立の難しさ	168人 (39.0%)
		活動場所への送迎	194人 (45.0%)
		送迎を除く大会運営の支援やサポ ート、お手伝い	61人 (14.2%)
		月謝などの経済的な負担	201人 (46.6%)
		特になし	71人 (16.5%)
その他	7人 (1.6%)		
6	<p><u>1において、「習い事のみでしていた」「部活動と習い事両方でしていた」と回答した431人を対象</u></p> <p>毎月の習い事の月謝（会費等）はどのくらいですか（複数ある場合は、おおよその平均値）。</p>	1,000円以内	5人 (1.2%)
		1,001円以上3,000円以内	27人 (6.3%)
		3,001円以上5,000円以内	50人 (11.6%)
		5,001円以上10,000円以内	135人 (31.3%)
		10,001円以上	214人 (49.7%)
7	<p>文部科学省は、「休日の中学校の部活動を段階的に地域クラブ活動に展開（移行）する」ことを示していますが、そのことをご存知ですか。</p>	よく知っている	61人 (6.2%)
		やや知っている	390人 (39.8%)
		あまり知らない	311人 (31.7%)
		全く知らない	219人 (22.3%)

8	休日の部活動が、学校ではなく地域で行う地域クラブ活動に変わる上で不安なことについて、あてはまるものをすべて選んでください。	活動場所への移動	591 人 (60.2%)
		会費等の経済的な負担	413 人 (42.1%)
		平日の部活動との兼ね合い	315 人 (32.1%)
		参加したい種目・活動の有無	274 人 (27.9%)
		指導者の活動に対する考え方や質の保障	396 人 (40.4%)
		活動日数、活動時間	390 人 (39.8%)
		けがや事故、トラブルなどへの対応や責任の所在	228 人 (23.2%)
		大会への参加	182 人 (18.6%)
		その他	27 人 (2.8%)
		わからない	149 人 (15.2%)
9	活動場所が在籍する学校と別になることも考えられます。お子様が休日の昼間に地域クラブで活動するとして、活動場所が学校よりも遠い場所になる場合、どのように通わせるかについて、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答可)	自転車	515 人 (52.5%)
		公共交通機関 (バス)	587 人 (59.8%)
		家族などによる送迎	636 人 (64.8%)
		徒歩	381 人 (38.8%)
		その他	7 人 (0.7%)
		わからない	115 人 (11.7%)
10	お子様が休日に地域クラブで活動する場合 (月に4回程度、1回3時間程度)、毎月の会費等の費用として妥当な金額はどのくらいと考えますか。	1,000 円以内	113 人 (11.5%)
		1,001 円以上 3,000 円以内	295 人 (30.1%)
		3,001 円以上 5,000 円以内	290 人 (29.6%)
		5,001 円以上 10,000 円以内	143 人 (14.6%)
		10,001 円以上	15 人 (1.5%)
		わからない	125 人 (12.7%)